

憲法 60 年目の現実

— 国民投票法と政治状況 —

今年日本国憲法が施行されて 60 年です。日本社会に住む私たちは、この憲法の下で長く平和を享受してきました。

しかし、安倍首相は、今年の初めから憲法改定を政権の目標に掲げ、7月の参院選の争点にすると声明しています。そして、通常国会では、改憲のための手続きである国民投票法が最優先法案としてスピード採決されてしまいました。

いま、私たち目の前にしているのは、どのような政治状況なのでしょう？ 7月参議院選挙を前にして、考えたいと思います。

講演

グローバル化と 憲法第9条

君島東彦

(立命館大学教授)



パネル討論

杉田 敦 (法政大学教授)

間宮陽介 (京都大学教授)

山口二郎 (北海道大学教授)

君島東彦 (立命館大学教授)

司会

岡本 厚

(岩波書店「世界」編集長)

* 資料代として一般の方は500円、
学生の方は300円を申し受けます

日時・会場

6月22日 (金)

19時~21時 (開場:18時30分)

法政大学
市ヶ谷キャンパス
外濠校舎 4階・
S405 教室

外濠校舎は、
線路側の正門
入って左側



主催：憲法再生フォーラム (代表：辻井 喬)

連絡先：法政大学杉田研究室 (03-3264-9448FAX, saiseiforum@gmail.com)

法政大学ポアソナード記念現代法研究所

連絡先：03-3264-9380